



むら せ  
**村瀬** ひとし  
**旬** 議員  
(政経会)

## 保育園において保育中の体調不良時、諸事情により出迎え困難な保護者にかわり市が受診させるシステムの実現について

**問** 現在、富士宮市の保育園で急に子どもが体調不良になった場合、どのような対応を行っているか、また頻度はどの程度か。

**部長** 体温が38度以上になった場合や嘔吐、下痢が続いた場合など、保護者に迎えに来ていただくよう保育士が連絡をし、迎えに来ていただいている。保護者がすぐに迎えに来ることができない場合などは、職員室に併設されている医務室で他の子どもとは隔離し、保育士が付き添いながら保護者の迎えを待つ体制をとっている。また、発生頻度については、子どもが卒園するまでには、ほとんどの子どもが1回や2回は、体調不良で保護者を呼ぶことがある。

**問** お迎え型病児保育事業について、どこまで把握しているか、また富士宮市として導入の意思はあるか。

**部長** 富山市で導入している例からすると、保護者が迎えに来ることができない場合、保護者にかわって看護師と保育士がタクシーで迎えに行き、かかりつけ医などを受診したあと、園の病児保育室で子どもを預かるというシステムであり、富士宮市としては、病児を預かる保健室が必要なため、まず、新しい児童館と、子育て支援センター開設後に予定している大宮保育園に病児保育室を開設し、必要に応じて研究をしていく。



▲保育園では、急に体調を崩す子どもがいる。



す わ べ たかとし  
**諏訪部 孝敏** 議員  
(政経会)

## 障がいのある方への支援について

**問** 障がいに関するシンボルマークの現状と市民への周知について伺う。

**部長** ヘルプマークは、平成29年7月に案内用図記号としてJIS規格に追加され、全国的な普及を目指している。ヘルプマークをつけることで周囲に配慮を必要としていることを知らせることができる。シンボルマークの利用状況について当事者などの意見を伺い、誰もが住みやすい街づくりに役立てていきたいと考えている。

## 消防団への支援について

**問** 消防団応援の店の協賛及び協力店設置について伺う。また、埼玉県各市町では消防団の応援の店ということで消防団へ入団を促進し、地域防災力向上を図るという制度を提案したい。

**部長** 現在、静岡県では地域防災のかなめである

消防団員を支援することを目的としたふじのくに消防団応援連盟事業を実施している。

## 共生型サービスを提供する事業所の拡充について

**問** 子どもや高齢者、障がい者が日常的にかかわりを持つことで、子どもには健全な育成、高齢者は子育て支援などで役割を持ち、健康を維持する効果があり、障がい者は活躍することで自我実現に効果があると期待される。今後、当市においても共生型サービス事業所が設置されると予想されるが、共生型サービスについて伺う。

**市長** 共生型サービスは、高齢者や障がい者の福祉サービスの選択肢を広げるものであるとともに、高齢者、障がい児者が相互に日常的なかかわりを持つことにより、住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともにつくっていくという共生社会の理念を持ったサービスと考えている。同じように住み慣れた地域で生き生きと暮らせる福祉のまちづくりに取り組んでいく。